

公開質問状

町田発・ゼロ・ウェイストの会
理事長 広瀬 立成 殿

2010年5月23日 第2回 NPO法人 町田発・ゼロ・ウェイストの会の総会にあたり、質問状（2010年5月19日付）を出し、回答を受け取りました。（2010年6月19日）

回答内容が不十分なことと、回答頂きました書面より新たな質問が発生した為質問項目2件を追加し、書面での回答を求め、再度質問状（2010年7月15日付）を送らせていただきました。送付より2年を経ましたが、何の回答も無いまま現在に至っています。

さて、先日、町田発・ゼロ・ウェイストの会理事長広瀬立成氏が『住民と自治』5月号（自治体問題研究社）に掲載された文章を、複数の方々から送付いただきました。2010年5月の総会での資料・報告・あるいは質問状（2010年5月19日付）の回答では、「トヨタ財団の助成は本NPO法人になされたものではないことが、後から判明しました」との回答でした。

ところが、『住民と自治』5月号（自治体問題研究社）に掲載された理事長の文章によりますと、「2009年、本NPOは以下に示す2つのプロジェクトに採択され、取り組みを加速しました」として、環境省循環型社会地域支援事業とともに、トヨタ財団2008年地域社会プログラム（2008年2009年）の報告が書かれています。

あらためて、NPO法人 町田発・ゼロ・ウェイストの会のホームページや、理事会の議事録、また、理事長の著書『物理学者はごみをこう見る』を見ますと、トヨタ財団2008年地域社会プログラム（2008年2009年）は、NPO法人 町田発・ゼロ・ウェイストの会の活動として広報し、報告がされています。

このことは、自ら、2010年の決算が虚偽であったことを認めていることになりません。

記

- 1 第2回総会（2010年5月23日）の決算・予算をやり直すべきです
- 2 第3回総会資料（2011年5月22日）を請求します

尚、書面にてのご回答を、6月15日までをお願い致します。

2012年5月31日